



提供・盛岡タイムス (2020年3月25日)

設計担当者紹介



(株)久慈設計 取締役 副社長
構造設計 一級建築士 久保田 克之

子供のころから慣れ親しんだ川徳百貨店の業務に、地元的设计事務所である当社が携われたことに感謝しながら業務に取り組ませていただきました。

耐震診断は、一般的な日本建築防災協会の第二次診断及び第三次診断のほか地震応答解析を実施し、補強工法は制震ブレースや鉄骨ブレース等の様々な工法を比較検討し、最終的に川徳様の「お客様第一」という思いを優先し、利用者様へ負担の少ないSRF工法(包帯補強)を採用しました。

パルクアベニュー・カワトク店は、同規模の建物と比較して補強量がとても少なく、事業継続を考慮して建設時にしっかりとした建物を建設していた事による成果と思われ、そのご判断に敬服いたしました。

第三者機関(株式会社 建築構造センター)による評価書、岩手県内初の「地震に対する安全性に係る基準適合認定建築物」の認定取得を行い、今後も次世代へと永らく引き継がれる地元の百貨店として、お客様がより安心してお買物をすることが出来る建物となりました。

株式会社川徳 代表取締役社長 川村様をはじめ、常務取締役 荒道様、執行役員総務部長 松尾様の業務への多大なるご協力により工事完了まで至った事に御礼を申し上げます。

株式会社川徳 代表取締役社長 川村様をはじめ、常務取締役 荒道様、執行役員総務部長 松尾様の業務への多大なるご協力により工事完了まで至った事に御礼を申し上げます。

「認定第一号へ」
補強がなかったら、因らぬ設計の久保田 副社長



久慈設計 公式HP
トップページ



久慈設計 公式HP
リクルートページ

Always with a SMILE!

発行責任者 株式会社 久慈設計
住所 / 岩手県盛岡市扇町3-11
TEL / 019-624-2020

Always with a SMILE!

2020 11月号

Vol.188

特集 パルクアベニュー・カワトク耐震補強設計



岩手県内初!!
基準適合認定建築物

認定第一号へ

KUJI HIGASHINIHON ARCHITECTS STUDIO
株式会社 久慈設計 東日本
(一級建築士事務所)

KUJI ARCHITECTS STUDIO
株式会社 久慈設計
(一級建築士事務所)

บริษัท กุจิ เซคเค ไทย จำกัด
KUJI SEKKEI THAI CO., LTD.
Bangkok



「福島の再生なくして日本の再生なし」

久慈設計は「Fukushima with a SMILE!」を通じて福島の魅力を発信していきます。

パルクアベニュー・カワトク 耐震補強設計

施工地 / 岩手県盛岡市菜園一丁目23番地150
 竣工年月 / 1980年10月
 延床面積 / 43,444㎡
 構造 / 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上8階、地下2階
 事業内容 / 百貨店業



ご挨拶



株式会社 川徳
 代表取締役社長
川村 宗生様

当社のパルクアベニュー・カワトク店は、1980年10月18日にオープンし、約40年経過した建物となります。

その当時の建築基準法に適合した建物でありましたが、耐震診断を受けたおりに、耐震基準値に適合できない箇所があることが判明したため、株式会社久慈設計様にお願いし、対応策を話し合いながら、設計及び耐震工事を進めてまいりました。

多くのお客様がお買物を楽しんでいただくための建物ですから、第一にお客様の安全を確保できる建物でなくてはなりません。また各階においても、お客様の視認性を妨げる構築物はできるだけ避け、お客様の回遊性を低下させたくないという思いがありました。

もちろん耐震工事期間中も、お客様が安全にお買物ができる環境を提供しながら営業していくことも条件になりますので、今回のSRF工法を採用させていただいた次第です。

本工事が終了し、盛岡市様より「基準適合認定建築物」第1号として認定頂きましたことは、お客様に安心してお買物をしていただける環境を提供できるため、川徳にとって大きな喜びであります。

お客様や地域の方々の安全を確保できる建物として、少しでも地域のお役に立てれば幸いですと考えております。

以上、簡単ではありますが、耐震設計から工事監理まで株式会社久慈設計様にお力添えをいただいたことに感謝し、私からのご挨拶とさせていただきます。

■ 企業情報

創業 慶応2年(1866年)
 設立 昭和27年(1952年)
 資本金 1億円
 代表者 代表取締役社長 川村宗生
 従業員数 374名(2019年4月現在)
 事業内容 百貨店業
 年商 209億円(2018年度)
 住所 岩手県盛岡市菜園一丁目10番1号
 電話番号 (019)651-1111(代表)

■ 経営理念

『奉仕こそ我が努め』

わたくしたちは、常に新しい価値の提案、
 高質なサービスの提供を目指し、
 「お客様にとって『最高の店』づくり」を通じ
 地域、社会へ貢献します。



Before



After



接着剤塗布



ベルト巻きつけ

想定を超える地震を収める

SRF工法を採用!!

■ 改修経緯

本施設は、2013年改正の耐震改修促進法を受け、2018年に耐震診断を行ったところ、要緊急安全確認大規模建築物に該当いたしました。診断の結果、お客様の駐車場である地下2階の補強工事が必要となり、駐車場利用の際に影響が少ないよう、既存柱の強度を増加する補強方法を選定いたしました。SRF工法を採用し、通常営業を行いながら11本の柱を補強し、耐震性能を向上させ安全性を確保いたしました。

SRF工法とは？

SRF工法は、ポリエステル繊維製のベルトやシート(高延性材)を、ウレタン系一液無溶剤接着剤(高靱性接着剤)で、柱・壁等に巻きつけ、貼りつける補強法です。接着剤には臭いがなく、ホルムアルデヒド等を含みません。しなやかな高延性材は、柱・梁等が地震で繰り返し変形しても、コンクリートや木材を傷つけず、人と建物にやさしい補強方法であります。

巻くだけ、貼るだけ、居ながら耐震補強!

地震応答解析による検討も行いました。3D検討動画はこちらから

